

公 共

設 計 図 書
(特記仕様書・位置図・工事数量総括表)

2026 年度施行

道の駅るもい駐車場支障物件移設工事
(通信・電力管及び雨水管移設工事)

留萌市

特

記

仕

様

書

特記仕様書

- 20 一般事項
01 適用
01 共通仕様書
- 当該工事は、『北海道建設部土木工事共通仕様書』（以下「土木工事共通仕様書」という。）に基づき施工すること。
- 02 土木工事積算基準等
- 1 当該工事の設計図書は、北海道建設部が制定した次の積算基準等に基づき作成している。
 - (1) 一般土木工事
「土木工事積算要領」、「土木工事積算基準」、「土木工事工種体系化の手引き」
 - (2) 漁港工事
「漁港関係工事積算基準」、「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
 - (3) 下水道工事
「土木工事積算要領（下水道編）」、「土木工事積算基準」、「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
 - 2 「土木工事積算基準」及び「漁港関係工事積算基準」において定めている諸基準に基づき次のとおり扱っている。
 - (1) 機械施工と人力施工等の施工方法や区分は設計図面等から判断し、機械施工が困難である場合を除き、機械施工を標準として積算している。
 - (2) 特記仕様書等で別途明示している場合を除き、各基準において定めている標準工法・標準機種で積算している。
 - (3) 上記（１）（２）については、受注者の任意施工を拘束するものではない。
ただし、現場条件等がこれにより難しい場合には、必要に応じて設計変更する。
 - 3 「土木工事工種体系化の手引き」、「漁港関係工事工種体系化の手引き」及び「下水道工事工種体系化の手引き」において定めている事項を、設計図書の規格・摘要欄に明示しているが現場条件等に差異が生じた場合には、設計変更の対象とする。
 - 4 当該工事の数量算出書は、北海道建設部が制定した次の土木工事数量算出要領等に基づき作成している。
 - (1) 一般土木工事
「土木工事数量算出要領」
 - (2) 漁港工事
「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
 - (3) 下水道工事
「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」

特記仕様書

5 本設計図書は、北海道建設部が制定した「北海道建設部営繕工事積算要領」に基づき作成している。

6 特記仕様書に記載されていない事項について

図面(工事数量総括表を含む)及び、この特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 令和7年版(各工事編)」(以下「標準仕様書」という。)、「公共建築改修工事標準仕様書 令和7年版(各工事編)」(以下「改修標準仕様書」という。)、「建築物解体工事共通仕様書 令和4年版」(以下「解体共通仕様書」という。)及び、「北海道建設部土木工事共通仕様書(令和6年10月版)」による。

03 概数

- 1 「概数として扱う数量一覧表」に示した数量は概数である。概数として扱う事項の施工に当たっては、施工後でなければ数量の確認ができない場合を除き、現地調査終了後速やかに工事監督員と協議し、数量の確定を行い着手すること。
- 2 概数の確定により数量の変更が生じた場合には、設計変更により処理する。
なお、設計に対して過大な出来形数量に変更するものではないことに留意すること。
- 3 「概数として扱う数量一覧表」で示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、取り合い等によって新たに必要となる項目についても概数として扱う場合がある。
- 4 当該工事において、設計変更図書の作成(設計変更図面の作成及び工事数量の算出)を受注者に行わせることがある。

04 非契約数量

工事数量総括表の単位及び数量が()で表記されている数量(摘要を含む)は、契約事項とならない数量である。
ただし、契約数量に連動して概数の確定や現場条件変更等が生じた場合には、必要に応じて設計変更する。

01 電気設備工について

当該工事は、地下に埋設している高圧電線を保護する電線管路保護工の施工を行う。
施工の際に、地下に埋設している高圧電線に流れている電流を一時的に遮断および通電させる際は、有資格者

特記仕様書

(第一種電気工事士)が対応を行う。

また、その際は、関係各所の停電を避けるため発動発電機を設置して対応を行う予定である。

現況等を確認し変更の必要が生じた場合には、工事監督員と協議すること。

01 関係機関との協議について

当該工事箇所は、駐車場整備工事(北海道開発局留萌開発建設部)やアウトドア・アクティビティ拠点施設駐車場等整備工事(留萌市都市整備課)等の工事を予定している。

そのため、円滑かつ安全に施工を進めるため関係機関との情報共有を図り、調整等により変更の必要が生じた場合には、工事監督員と協議すること。

01 工期設定について

工期：2026年5月13日から2026年9月10日まで

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。

①準備期間：40日間

②後片付け期間：20日間

③雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業が出来ない日数を見込むための係数 実働日数×係数）：1.68

※上記の他、特別に見込んでいる日数や特別に工期に影響のある事項があれば記載する。

※他工事との調整期間として、見込んでいる。

02 拠点施設の仮オープンは7/18を予定しており、その前に準備などがあるため、7/16までに完了する計画である。

01 時間的制約を求められた場合の報告

当該工事の施工に当たり、施設利用者・関係機関・観光協会等から営業時間帯や通勤の時間帯や周辺地域の状況により、時間的制約等を求められた場合には、工事監督員に報告すること。

特記仕様書

04 市水道局との立会い

当該工事区間には留萌市上下水道課の水道管、下水道管が埋設されている。施工に先立ち、工事監督員から埋設占用物の参考図面を受領するとともに、その埋設位置、深さなどの詳細は必ず留萌市上下水道課に問い合わせを行い、必要に応じて立会等を求めること。

01 地下埋設物の管理者等との立会い

当該工事の施工に当たっては、地下埋設物の管理者等との現地立会を行い、当該物件の位置、深さ、保安対策等の打合せを行うこと。
なお、「立会い打ち合わせ調書」等にその打ち合わせ内容と結果を記載して立会い者等に押印を求め、当該調書の写しを工事監督員に提出すること。

地上埋設物の管理者等との立会い

当該工事の施工に当たっては、地上埋設物の管理者等との現地立会を行い、当該物件の位置、深さ、保安対策等の打合せを行うこと。
なお、「立会い打ち合わせ調書」等にその打ち合わせ内容と結果を記載して立会い者等に押印を求め、当該調書の写しを工事監督員に提出すること。

01 中間検査

1 当該工事は、次の段階で中間検査を実施する。

特記仕様書

- (1) 土木工事共通仕様書 第1編 第1章 1-1-1-23 表1-1によるもの。
 - (2) 次の項目については、段階確認（上記（1）以外）を実施する。
 - 1. 掘削完了後の掘削床の幅
 - 2. 砕石基礎の幅
 - 3. 路盤工の幅、厚さ
 - 4. 土工（掘削工）の際、土（岩）質の変化した時点
- なお、上記以外で、必要に応じて中間検査を追加することがあるが、その時は事前に受注者へ通知する。
- 2 中間検査の実施に当たっては、実施可能日の7日前までに工事監督員に報告すること。

01 交通安全管理の仕様

交通安全管理については、設計図等に基づくものとする。

なお、地域住民・警察との協議、関連工事との調整等により変更の必要が生じた場合には、工事監督員と協議すること。

04 交通処理計画の提出

当該工事は公園内での施工のため交通規制は伴わない。但し国道に隣接しており運搬車両の出入りがあるため、交通処理は土木工事共通仕様書及び着手前に現地状況等を確認のうえ、交通処理計画を作成し工事監督員と協議すること。

06 バリケード等の設置

当該工事箇所には、道の駅などが隣接しており、第三者が工事区域内へ侵入しないようフェンス・バリケード・保安灯を設置すること。また、配置については、北海道開発局保安施設設置標準図に基づき適正に配置すること。

設置箇所などは必要に応じて、監督員と協議すること。

07 交通誘導警備員の配置

当該工事の施工及び土砂運搬による搬出時に当たっては、次の作業期間中は交通誘導警備員を配置するものとし

特記仕様書

、施工箇所に交通誘導員 1 名配置を見込んでいる。

なお、毎日の作業終了後は現況幅員程度を確保することとし、一般交通等に支障がないよう安全対策を講じること。

04 仮歩道の設置

仮歩道は、W=2.0m以上を確保することとし、構造等の詳細については、工事監督員と事前に協議すること。

01 発生土の搬出先

当該工事の発生土は、旧JR留萌線敷地内（片道運搬距離：1.3km）に搬出し、場内の定められた位置に荷卸し、数量管理または台数管理が行える状態とすること。また工事期間は適正に管理すること。

なおヤード利用詳細については、事前に工事監督員と協議すること。

施工中、土質などの変更があれば、監督員と協議すること。

02 コンクリート再生骨材について

1 コンクリート再生骨材を路盤用材料等に使用する場合の品質確保については、「土木工事共通仕様書」による。

2 コンクリート再生骨材の品質管理は、製造者の試験成績結果によることができる。

確認の頻度は、製造施設毎に年 1 回以上とする。ただし、品質に変動が見受けられる場合は、確認の頻度を増やすなど考慮すること。

なお、品質については、事前に確認すること。

3 コンクリート再生骨材を路盤等に使用する場合は、基本的に 100%で使用するものとする。

施工時期が確定した時点で、再資源化施設に供給量の確認を行い、施工協議簿に別途配布の「再生骨材の出荷確認について」の写しを添付し、工事監督員に報告すること。

03 コンクリート再生骨材の使用（再生骨材単価が、再資源化施設渡し単価で設定されている地域）

当該工事におけるコンクリート再生骨材の使用については、次のとおりとする。

1 コンクリート再生骨材：0～40mm級（下層路盤）

2 コンクリート再生骨材：0～80mm級（凍上抑制層）

特記仕様書

3 コンクリート再生骨材：0～40mm級（舗装止縁石の基礎材）

4 コンクリート再生骨材：0～80mm級（集水桝の基礎材）

また、再資源化施設については、コンクリート再生骨材：0～40mm級は株式会社産業廃棄物処理センター（片道運搬距離：3.3km、）、コンクリート再生骨材：0～80mm級は株式会社ネオリサイクル（片道運搬距離：2.3km）を予定しているが、受注後ただちに再資源化施設に供給量の確認を行い、施工協議簿に別途配布の「再生骨材の出荷確認について」の写しを添付し、工事監督員に報告すること。

01 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律

この工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号、以下「建設リサイクル法」という）」に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

02 特定建設資材廃棄物の処理条件

分別解体等によって発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊）は、次のとおり再資源化等を実施することとするが、受注者において適正な処理施設を選定し、施工計画書に建設廃棄物における適正処理計画について記載すること。また、処分場所については積算上の条件明示であり、処分場所を指定するものではない。なお、受注者の提示する処理施設と積算上想定している処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。また、変更が生じた場合は、必要な資料を提出の上、工事監督員と協議すること。

1 コンクリート塊

- （1）処分場所：株式会社ネオリサイクル（受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設を想定）
：株式会社産業廃棄物処理センター

特記仕様書

- (2) 運搬距離 : 片道運搬距離3.3km
- (3) 処理方法 : 再資源化
- (4) 受入条件 : 鉄筋コンクリート塊

01 現場代理人の常駐義務緩和について

- 1 現場代理人は、原則として当該建設工事の着手日から完成届の受理日まで工事現場に常駐し、運営取締りを行うものとする。ただし、次のいずれかに該当する期間は、工事現場に常駐を要しないことができるものとする。
 - (1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
 - (2) 建設工事の全部を一時中止している期間
 - (3) 上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間
- 2 次の各号のすべてに該当する場合に、現場代理人の兼務を認めるものとする。ただし、現場の状況等を考慮し、現場代理人を兼務することが適当でないと認めたときは、この限りでない。
 - (1) 兼務する建設工事と関連性がある建設工事若しくは、同一の工種の建設工事であること。
 - (2) 兼務する建設工事の請負金額が4,500万円（建築一式工事9,000万円）未満であること。
 - (3) 兼務ができる工事は、原則3件以内であること。ただし、災害復旧工事については、別途協議により決定する。
 - (4) 兼務する工事は、原則、留萌市内の公共工事であること。
 - (5) 工事監督員と常に連絡が取れる体制を確保できること（携帯電話や連絡責任者の配置）。
 - (6) 現場代理人は、兼務するいずれかの工事現場に常駐すること。
- 3 受注者は、同一の現場代理人を複数工事現場に配置しようとする場合は、現場代理人兼務届出書（別途様式第1号）を、市長に提出するものとする。

01 設計図書に明示のない取扱い

設計図書に定めのない事象が生じた場合は、工事監督員と別途協議をすることとし、必要に応じて設計変更を行う。

特 記 仕 様 書

概数として扱う数量一覧表

		工事名	道の駅るもい駐車場支障物件移設工事 (通信・電力管及び雨水管移設工事)	当初	事業区分	公園緑地整備・改修		
					工事区分	施設整備		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
施設整備				式		1		
構造物撤去工				式		1		
運搬処理工				式		1		
殻運搬			コンクリート殻(鉄筋)	m3		0.1		概数
殻処分			コンクリート殻(鉄筋)	m3		0.1		概数
仮設工				式		1		
仮設電力設備工				式		1		
電動機設備			発動発電機[ディーゼルエンジン] 200kVA N=2箇所(2日間)	式.		1		概数
電動機設備			発動発電機[ディーゼルエンジン] 150kVA N=1箇所(2日間)	式.		1		概数
電動機設備			発動発電機[ディーゼルエンジン] 25kVA N=2箇所(2日間)	式.		1		概数

位 置 図

位置図

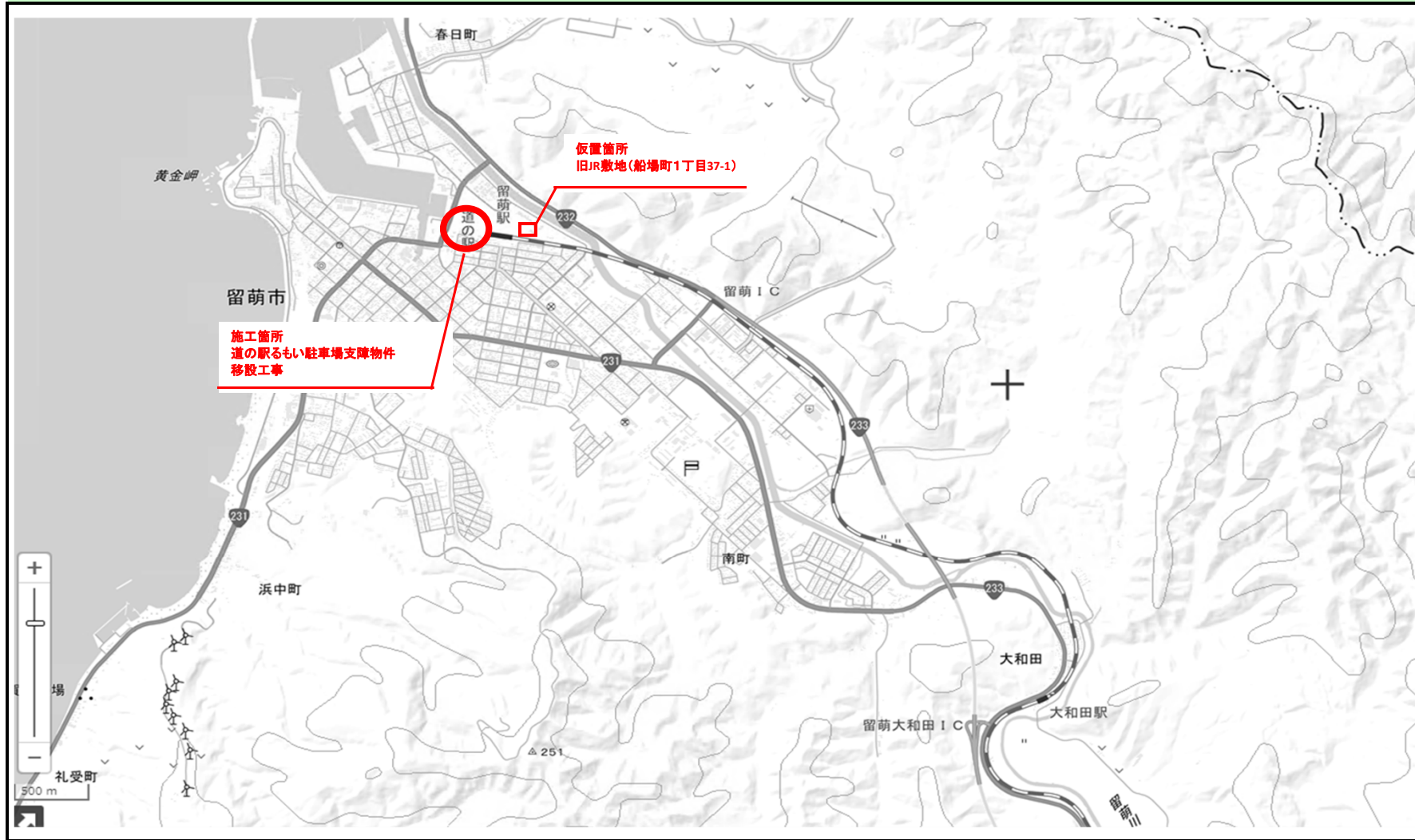
工事名	道の駅るもい駐車場支障物件移設工事																			
施工箇所	留萌市船場町 2 丁目																			
範囲	起	点	北緯	度	分	秒	東経	度	分	秒	終	点	北緯	度	分	秒	東経	度	分	秒

※工事箇所の住所については施工起点の左側の住所としています。

※緯度経度については、世界測地系であり地理院地図を利用した簡易測定結果。



図面は上が北です



<凡例>
旗揚線

施工箇所

留萌市

施工箇所塗り



現場発生品の仮置箇所



土取場箇所・発生土受渡箇所



その他指定する箇所（仮設ヤード等）

公共残土仮置き

輸送起点等



表示情報（表示している情報は■）

- ☒ 施工箇所・施工範囲
- ☐ 現場発生品の仮置箇所
- ☐ 残土処理場
- ☒ 仮置場
- ☐ 土取場
- ☐ 発生土受渡箇所
- ☐ 輸送起点箇所
- ☐ その他

備考

工 事 数 量 総 括 表

工事名	道の駅るもい駐車場支障物件移設工事 (通信・電力管及び雨水管移設工事)
-----	--

留萌市

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
基盤整備		式		1				
敷地造成工		式		1				
残土処理工		式		1				
整地	敷均し(ル-ズ)	m3		100		< 1 m3当たり > 整地	m 3	1
法面工		式		1				
植生工		式		1				
公園張芝	区分:張芝工 施工規模:100m2未満 時間的制約:無	m2		30		< 1 m2当たり > 人力施工による植生工	m2	1
施設整備		式		1				
雨水排水設備工		式		1				
作業土工		式		1				
(床掘り)	土質:土砂、施工方法:標準 作業障害:有	(m3)		(210)		< 1 m3当たり > 床掘り	m 3	1

工事数量総括表

		工事名	道の駅るもい駐車場支障物件移設工事 (通信・電力管及び雨水管移設工事)		(当 初)	事業区分	公園緑地整備・改修			
						工事区分	施設整備			
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件		単位
(埋戻し)			土質：土砂、施工方法：最大幅4m以上	(m3)		(150)		< 1 m3当たり > 埋戻し	m 3	1
(土砂等運搬)			土質：土砂、運搬距離：D=1.3km 【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級 】【タイヤ損耗費 10 t 積級 良好 供用日 】	(m3)		(50)		< 1 m3当たり > 土砂等運搬	m 3	1
管渠工				式		1				
鉄筋コンクリート管[Co基礎]			(管再利用) 450 2種 Co基礎90° 支承 基礎砂利:t=150mm 【Co再生骨材0-40mm 運搬費含む3.5km以下 】【生コンクリート 混合B種 C 40 】【	m		21		< 1 m当たり > 鉄筋コンクリート管 (2 種管) 据付・撤去 鉄筋コンクリート管 (2 種管) 据付・撤去 基礎砕石 コンクリート 生コンクリート空積割増 型枠 基面整正	m m m 2 m 3 m3 m 2 m 2	1 1 0.8 0.117 0.026 0.486 0.8

工事数量総括表

		工事名	道の駅るもい駐車場支障物件移設工事 (通信・電力管及び雨水管移設工事)		(当 初)	事業区分	公園緑地整備・改修		
						工事区分	施設整備		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
						現場条件	単位	数量	
鉄筋コンクリート管[砂利基礎]	(布設替) 450 2種 砂利基礎60° 支承 基礎砂利:t=200mm 【Co再生骨材0-80mm 運搬費含む3.0km以下】	m		3		< 1 m当たり >			
						鉄筋コンクリート管(2 種管) 据付・撤去	m	1	
						鉄筋コンクリート管(2 種管) 据付・撤去	m	1	
						基礎碎石	m 2	0.8	
						基面整正	m 2	0.8	
鉄筋コンクリート高压管[砂利基礎]	(新材) 300 1種 基礎砂利:t=200mm 【Co再生骨材0-80mm 運搬費含む3.0km以下】	m		3		< 1 m当たり >			
						鉄筋コンクリート高压管	個	0.5	
						基礎碎石	m 2	0.55	
						基面整正	m 2	0.55	
暗渠排水管	管種別：合成樹脂管、管径：200mm 布設替(材料再利用) 【暗渠排水管 布設替(機械・労務費のみ)】 【砂 凍上抑制層用材料】	m		2		< 1 m当たり >			
						暗渠排水管	m	1	
						フィルター材	m 3	0.3	
集水桝・マンホール工		式		1					
プレキャスト集水桝	(新材) 型B下部桝(H=1200) 【下部桝 型 B 1100×1100×1200mm 参考質量1480kg/個】 【足掛金物[刊行物単価R8.4月] 幅300mm、芯 19mm】	箇所		1		< 1 箇所当たり >			
						プレキャスト集水桝	基	1	
						プレキャスト集水桝(材料費)	基	1	
						足掛金物[刊行物単価R8.4月]	本	3	
						基面整正	m 2	1.69	

工事数量総括表

		工事名	道の駅るもい駐車場支障物件移設工事 (通 信 ・ 電 力 管 及 び 雨 水 管 移 設 工 事)		(当 初)	事業区分	公園緑地整備・改修			
						工事区分	施設整備			
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件		単位
プレキャスト集水樹			(新材)接続中間樹(840×840～1100×1100 H=200) 【集水樹 型B 接続中間樹3面テーパ―[見積策定単価] 840×840～1,100×1,100 H=200(mm) 】【足掛金物[刊行物単価R8.4月] 幅300mm、芯 19mm 】【	箇所		1		< 1 箇所当たり > プレキャスト集水樹	基	1
								プレキャスト集水樹(材料費)	基	1
								足掛金物[刊行物単価R8.4月]	本	1
プレキャスト集水樹			(新材) 型A中間樹(H=700) 【中間樹 型A 840×840×700mm 参考質量581kg/個】 【足掛金物[刊行物単価R8.4月] 幅300mm、芯 19mm 】【	箇所		1		< 1 箇所当たり > プレキャスト集水樹	基	1
								プレキャスト集水樹(材料費)	基	1
								足掛金物[刊行物単価R8.4月]	本	2
プレキャスト集水樹			(撤去再設置) 型A中間樹(H=700)	箇所		1		< 1 箇所当たり > プレキャスト集水樹	基	1
プレキャスト集水樹			(新材) 型A中間樹(H=500) 【中間樹 型A 840×840×500mm 参考質量421kg/個】 【足掛金物[刊行物単価R8.4月] 幅300mm、芯 19mm 】【	箇所		1		< 1 箇所当たり > プレキャスト集水樹	基	1
								プレキャスト集水樹(材料費)	基	1
								足掛金物[刊行物単価R8.4月]	本	1
樹蓋			(新材) 型A用鋳鉄製蓋 600 【樹蓋 鋳鉄製 T-25 600S 角型受枠付 参考質量 80kg/組】	枚		1		< 1 枚当たり > 材料費(枚)	枚	1
電気設備工				式		1				

工事数量総括表

		工事名	道の駅るもい駐車場支障物件移設工事 (通信・電力管及び雨水管移設工事)		(当 初)	事業区分	公園緑地整備・改修			
						工事区分	施設整備			
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件	単位	数量
作業土工				式		1				
(床掘り)			土質:土砂、施工方法:標準 作業障害:有	(m3)		(70)		< 1 m3当たり > 床掘り	m 3	1
(埋戻し)			土質:土砂、施工方法:最大幅1m以上4m未満	(m3)		(10)		< 1 m3当たり > 埋戻し	m 3	1
(土砂等運搬)			土質:土砂、運搬距離:D=1.3km 【ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級】 【タイヤ損耗費 10t積級良好 供用日】	(m3)		(50)		< 1 m3当たり > 土砂等運搬	m 3	1
電線管路保護工				式		1				
プレキャストU型側溝			特殊横断U型600側溝 基礎砂利:t=200mm 【特殊横断U型600側溝[見積策定] 】 【Co再生骨材0-80mm 運搬費含む3.0km以下】	m		22		< 1 m当たり > U型側溝 砂 基面整正	m m 3 m 2	1 0.307 0.85
側溝蓋			特殊横断U型600側溝用蓋 t=160mm 【特殊横断U型600側溝用蓋[見積策定] 800×160/170×1000】	枚		22		< 1 枚当たり > 材料費(枚) 蓋設置	枚 組	1 1

工事数量総括表

		工事名	道の駅るもい駐車場支障物件移設工事 (通信・電力管及び雨水管移設工事)		(当 初)	事業区分	公園緑地整備・改修			
						工事区分	施設整備			
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
							現場条件	単位	数量	
埋設シート		ポリエチレンクロス(シングル)300mm×50m	m		22		< 1 m当たり >	m	1	
							埋設標識シート敷設			
							埋設標識シート			m
園路広場整備工			式		1					
舗装準備工			式		1					
不陸整正		補足材：無し	m2		6		< 1 m2当たり > 不陸整正	m 2	1	
アスファルト舗装工			式		1					
凍上抑制層(歩道部)		コンクリート再生骨材0～80mm t=110mm 【コンクリート再生骨材0～80mm 運搬費含む(3.0km以下) 】	m2		6		< 1 m2当たり > 下層路盤(歩道部)	m 2	1	
下層路盤(歩道部)		コンクリート再生骨材0～40mm t=100mm 【コンクリート再生骨材0～40mm 運搬費含む(3.5km以下) 】	m2		6		< 1 m2当たり > 下層路盤(歩道部)	m 2	1	
ブロック舗装工			式		1					
インターロッキングブロック舗装		標準品 曲線配置 厚6cm砂(クッション用)30mm100m2未満 【砂 凍上抑制層用材料 】	m2		6		< 1 m2当たり > インターロッキングブロック撤去 (再設置)	m 2	1	

工事数量総括表

		工事名	道の駅るもい駐車場支障物件移設工事 (通信・電力管及び雨水管移設工事)		(当 初)	事業区分	公園緑地整備・改修	
						工事区分	施設整備	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
						現場条件	単位	数量
園路縁石工		式		1				
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	撤去再設置 ﾎﾞﾛｯｸ規格：舗装止縁石 【生コンクリート 混合B種 C 1 】【Co再生骨材0-40mm 運搬費含む3.5km以下 】【	m		6		< 1 m当たり> 歩車道境界ブロック	m	1
構造物撤去工		式		1				
構造物取壊し工		式		1				
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物機械施工	m3		0.1		< 1 m3当たり> 構造物とりこわし	m 3	1
排水構造物撤去工		式		1				
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管撤去	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管(2種) 450	m		1		< 1 m当たり> 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管(2 種管) 据付・撤去	m	1
縁石撤去工		式		1				
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ撤去	再利用	m		6		< 1 m当たり> 歩車道境界ブロック撤去	m	1
ﾌﾞﾛｯｸ舗装撤去工		式		1				

工事数量総括表

		工事名	道の駅るもい駐車場支障物件移設工事 (通信 ・ 電力管 及び 雨水管 移設工事)		(当 初)	事業区分	公園緑地整備・改修				
						工事区分	施設整備				
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
								現場条件		単位	数量
インターロッキングブロック撤去			再利用	m2		7		< 1 m2当たり > インターロッキングブロック撤去 (再設置)		m 2	1
運搬処理工				式		1					
殻運搬			コンクリート殻(鉄筋) 【ダンプトラック [オンロード ・ディーゼル] 1 0 t 積級 】 【タイヤ損耗費 1 0 t 積級 良好 供用日 】	m3		0.1		< 1 m3当たり > 殻運搬		m 3	1
殻処分			コンクリート殻(鉄筋) 【再資源化廃棄物受入費 有筋 ・無筋コンクリート 30 ~ 600mm フ ック・縁石・舗装止め 】	m3		0.1		< 1 m3当たり > 処分費 (t)		t	2.5
現場発生品運搬			支給材：舗装止縁石、インターロッキングブロック、片道運搬距離：6.4km	回		1		< 1 回当たり > 現場発生品及び支給品運搬		回	1
仮設工				式		1					
交通管理工				式		1					
(交通誘導警備員)			交通誘導警備員 B	(人日)		(8)		< 1 人日当たり > 交通誘導警備員 B		人日	1
仮設電力設備工				式		1					

工事数量総括表

		工事名	道の駅るもい駐車場支障物件移設工事 (通 信 ・ 電 力 管 及 び 雨 水 管 移 設 工 事)		(当 初)	事業区分	公園緑地整備・改修				
						工事区分	施設整備				
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
								現場条件		単位	数量
(電動機設備)			発動発電機[ディーゼルエンジン]200kVA N=2箇所(2日間)	(式.)		(1)		< 1 式.当たり> 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 低圧配電線路 軽油		日	4
										m	10
										L	2,400
(電動機設備)			発動発電機[ディーゼルエンジン]150kVA N=1箇所(2日間)	(式.)		(1)		< 1 式.当たり> 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 低圧配電線路 軽油		日	2
										m	5
										L	768
(電動機設備)			発動発電機[ディーゼルエンジン]25kVA N=2箇所(2日間)	(式.)		(1)		< 1 式.当たり> 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 低圧配電線路 軽油		日	4
										m	10
										L	269
直接工事費				式		1					
共通仮設費				式		1					
共通仮設費				式		1					
現場環境改善費(率計上)				式		1					

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
道の駅るもい駐車場支障物件移設工事 (通信・電力管及び雨水管移設工事)				(当 初)	事業区分 工事区分	公園緑地整備・改修 共通仮設費		
共通仮設費(率計上)		式		1				
純工事費		式		1				
現場管理費		式		1				
工事原価		式		1				
一般管理費等		式		1				
工事価格		式		1				
消費税相当額		式		1				
工事費計		式		1				